

人工林はどうやって育てられているの？

長い年月をかけて育てるんじゃ。



人工林を育てるために

人工林を育てるには、苗木を植えてから木材として切り出すまで、何十年もの長い時間がかかります。そのため、林業を営む人は、家族ぐるみで何世代にもわたって森林を手入れします。人工林を育てることは、大きな木材をとるためだけでなく、わたしたちのくらしや地球の環境を守るためにとても大切な仕事です。

木がりっぱに育つように手入れをすることが大切です。

家をつくる材料として、山でスギやヒノキを育てて 山鹿市 野中さん(林業) います。先祖からずっと山を受けついで、私の代で5代目になります。山で木がすくすく育つように、苗木を植えたり、間伐や雑草を刈りとりたり手入れをすることがおもな仕事です。一本の木が育つまで、長い年月がかかります。私が今、山から切っているのは、おじいちゃんやひいじいちゃんが植えた木なのです。



メモ

⑥ 主伐・収穫

熊本県では植え付けから収穫するまでに、早くても40年、50年ほどかかります。切った後は、再び苗木を植えます。



⑤ 間伐・収穫

植え付けてから20年ほどたったら、木と木の間隔が広がるように木を切って本数を減らし、残った木が太くなるようにします。間伐をしないと良い木材になる木が育ちません。切った木は間伐材として収穫され、色々なところで利用されています。



④ 枝打ち

質のいい木にするために、低いところの枝を切り落とします。枝打ちをすることで、節の少ない木材にすることができ、林内も明るくなります。



① 苗木づくり

苗畑に種をまいたり、さし木^{*1}をしたりして、2~5年ほどかけて山に植えられらるくらいの大きさ(50~70cm)に育てます。熊本県ではさし木で育てることが多いです。



② 植林

育った苗木を山に植えます。主に春に植えることが多いようです。木の成長を考えて、2mくらいの間をあけて植え付けていきます。



③ 下草刈り

植え付けた苗木が、周りの雑草に負けないよう、植え付けから5~8年間、伸びた周りの雑草を刈り取ります。



森林に入って作業をしながら林業について学んでいます。

熊本県立芦北高等学校 林業科

熊本県には林業について専門に学ぶことができる高校があります。

実際に森林に入って、木を育てる作業

をしながら、林業の仕事について学ぶ授業もあり、木にふれながら作業することで、自然の豊かさや大切さを学ぶことができます。多くの卒業生が、森林・林業にかかわる仕事に進み、活躍しています。



木や森に関わることを学べる熊本県内の学校

(1) 高等学校	
学校名	科・コース
県立芦北高等学校	林業
県立矢部高等学校	林業科学
県立南稜高等学校	総合農業
県立阿蘇中央高等学校	グリーン環境
県立八代農業高等学校 泉分校	グリーンライフ
県立熊本工業高等学校	建築
県立小川工業高等学校	
県立水俣高等学校	
県立球磨工業高等学校	
私立開新高等学校	
(2) くまもと林業大学校 (1年間) 2019年4月開校	

*1: 木の枝の一部を切り取り、土にさして苗木を育てる方法。

